

リハビリテーション医療における評価及び実績

東京都保健医療計画(平成30年3月改定)の内容

<課題1>

一貫したリハビリテーションの実施

<課題2>

地域リハビリテーション支援体制の充実が必要

<課題3>

東京都リハビリテーション病院の運営



<取組1>

一貫したリハビリテーションの推進

<取組2>

地域リハビリテーション支援体制の充実

<取組3>

東京都リハビリテーション病院の運営

各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況
				1年目	2年目	3年目	
取組1 取組2 取組3	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	運動器 892施設 脳血管 537施設 呼吸器 319施設 がん 117施設 心大血管 86施設 (平成29年9月現在)	増やす	運動器 939施設 脳血管 561施設 呼吸器 324施設 がん 126施設 心大血管 95施設 (平成31年4月現在)	運動器 958施設 脳血管 565施設 呼吸器 325施設 がん 131施設 心大血管102施設 (令和2年4月現在)		A
取組1	回復期リハビリテーション病棟の病床数	7,057床 (10万人当たり51.4床) (平成29年9月現在)	増やす	7,707床 (10万人当たり55.6床) (平成30年12月現在)	8,075床 (10万人当たり57.9床) (令和2年2月現在)		A

<評価基準>

A: 達成している B: 概ね達成している
 C: やや達成が遅れている
 D: 達成が遅れている -: その他

事業実績

課題	取組	事業名	事業概要	これまでの取組状況	
				平成30年度実績	令和元年度実績
課題1	取組1	○地域リハビリテーション支援事業	○おおむね二次保健医療圏ごとに指定している地域リハビリテーション支援センターを拠点に、地域において様々な形態で実施されているリハビリテーション事業を支援することによって、保健・医療・福祉が連携した地域におけるリハビリテーションのシステム化を図る。	○脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化	○脳卒中地域連携バスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化
		○地域医療構想推進事業(施設設備整備)	○地域医療構想に基づき、病床の整備及び病床機能の転換を行う医療機関に対し、改修・改築等の施設・設備整備に要する経費の一部を補助することにより、都における病床機能分化を促進する。	○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟等の施設・設備整備に要する費用について補助 ・施設(8施設) ・設備(12施設)	○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟等の施設・設備整備に要する費用について補助 ・施設(7施設) ・設備(5施設)
課題2	取組2	○地域リハビリテーション支援事業	○地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等の参画による連絡会を開催し、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。 ○大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。	○地域リハビリテーションに関する現状や課題等について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーション関係者の連携を強化 ○地域の实情に応じた災害時リハビリテーション支援体制を構築するため、地域リハビリテーション支援センター(1か所:日本赤十字社武蔵野赤十字病院)においてモデル事業を実施	○地域リハビリテーションに関する現状や課題等について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーション関係者の連携を強化 ○地域リハビリテーション支援センターが連携し、地域リハビリテーションにおける課題の分析、検討や、解決のための取組を推進できるよう、地域リハビリテーション支援センター連絡会の回数や内容を充実 ○地域リハビリテーション支援センターの役割や設置規模など、機能強化に向けた検討や、災害時リハビリテーション支援体制の構築に向けた検討を行うための検討部会を設置
		○リハビリテーション病院運営	○東京都におけるリハビリテーション医療の中核的施設として高度診療機能を備え、身体に機能障害があり、リハビリテーション医療を専門的に行う必要のある患者に、外来及び入院による医療を行うとともに、医療関係者の教育研修やリハビリテーションの臨床研究を行う。	○急性期病院等との連携強化により、患者の受入れから退院後の支援まで切れ目ないサービス提供を行うほか、日・祝日もリハビリテーション訓練を行う「365日リハビリテーション」を実施 ・入院患者数 56,660人/年 ・外来患者数 14,992人/年 ○臨床研究に取り組み、その成果を学会に発表したほか、実習生、見学生の受入を実施	○急性期病院等との連携強化により、患者の受入れから退院後の支援まで切れ目ないサービス提供を行うほか、日・祝日も月曜から土曜までと同等のリハビリテーション訓練を行う「365日リハビリテーション」を実施 ・入院患者数 56,879/年 ・外来患者数 14,501/年 ○臨床研究に取り組み、その成果を学会に発表したほか、実習生、見学生の受入を実施
課題3	取組3	○地域リハビリテーション支援事業	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域リハビリテーションに関わる施設や行政等と連携し、地域リハビリテーションの支援を行う。	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域の関係機関等と連携を推進するとともに、研修等を実施 ○退院支援の強化により、入院療養の質の向上に寄与し、安心して退院後のより良い在宅医療を継続できるよう支援を実施	○地域リハビリテーション支援センターとして、地域の関係機関等と連携を推進するとともに、研修等を実施 ○地域リハビリテーション支援センター連絡会のとりまとめ役として、連絡会の取組を推進 ○退院支援の強化により、入院療養の質の向上に寄与し、安心して退院後のより良い在宅医療を継続できるよう支援を実施

委員の皆様からの意見

- ◎ 指標に対する都の評価については、妥当である。
- 都におけるリハビリテーション医療体制は順調な推移を見せており、今後はリハビリテーション医療の更なる質の充実が求められる。
- 介護支援専門員の人材確保・育成に対する十分な支援や、リハビリテーション医療に関する研修の充実が必要。